

<株式会社エフエム東京 第347回放送番組審議会>

1. 開催年月日：平成20年3月4日（火）
2. 開催場所：エフエム東京 本社10階大会議室
3. 委員の出席：委員総数7名
◇出席委員（6名）

子安美知子	委員長	青池慎一	副委員長
内木文英	委員	横森美奈子	委員
渡辺貞夫	委員	香山リカ	委員

◇欠席委員（1名）

内館牧子	委員
------	----

4. 議題

- (1) 最近の活動について
- (2) 番組試聴：「Daily Planet」
2007年12月5日（水）20：00～21：55放送分

<試聴時間：約20分>

<<議事内容>>

議題1：最近の活動について

◎アースデー・コンサートについて

京都議定書が今年から発効され、7月に「G8洞爺湖サミット」が行われるなど、環境問題が更に注目される2008年。

アースデー・コンサートは、こうした社会環境と、人々の心理変化を踏まえた上で、世界に向けて「アースコンシャス～地球を愛し、感じるこころ」のメッセージの発信と、具体的な行動として、チケット1枚につき1ドル相当を、ワングリ・マータイ氏が呼びかけているケニアでの植林活動「グリーンベルト運

動」へ寄付致します(※1本の木を植えて育てる経費が約1ドルとなります)。チケットの半券には、これでアフリカに1本の木が植林されますという趣旨が記され、来場者への植林証明書の役割も持たせるなど、実感を持って頂きます。

19回目となる今年のアースデー・コンサートには、環境関連イベントに多く出演するなど意識も高く、昨年ミリオンセールスを記録した2人の女性アーティスト『絢香』と『BONNIE PINK』、そして海外からは、途上国支援コンサート「LIVE8」に出演するなど、社会貢献活動に深い関心を寄せる世界的アーティストで、昨年の洋楽トップセールスを記録した『ダニエル・パウター』を迎えます。

この模様は、同日 19:00~21:00、全国 38 局ネットの生放送番組で中継するほか、中国など世界各地の放送局への配信も予定しております。

日時：2007年4月22日(火)18:00 開場、19:00 開演

放送：19:00-21:00

JFN系全国38局ネット生放送のほか、中国など世界各地へ配信予定

会場：日本武道館

出演者：絢香、BONNIE PINK、ダニエル・パウター

◎FMケータイキャンペーンに関して

FMケータイ利用促進を目的に、全国民放FM53局が連動して展開する「Meet the Music 2008! 全国民放FM53局&KDDI presents 桑田佳祐アコースティックライブ in 石垣島」キャンペーンは、Yahoo!ではトップニュースとして報じられたほか、TV、新聞、webニュース等多数の媒体で取り上げられました。

54組108名のリスナーレポーター応募受付を、携帯、PCの特設サイトで行ったところ、応募総数は7万7千人。その内、ケータイ3キャリアの中ではKDDI (au)の携帯電話(FMケータイ機能での応募が可能)からの応募が、全体の34%と最も多く、FMケータイの利用状況の再確認と、更なる利用促進につながる結果となりました。また、リスナーが応募時に入力する「普段聴いているFM局」では、TOKYO FMが他局を大きく引き離し53局中トップとなりました。

ライブの様子は、幹事社であるTOKYO FMの制作主導により、3月23日(日)19時、石垣島から、国内初となる全国民放FM53局同時生中継による特別番組として放送致します。

◎緊急地震速報を4月1日よりスタート

気象庁が昨年10月より本格運用を始めました「緊急地震速報」に関しまして、TOKYO FMでは来る4月1日(火)午前0時より次の通り放送運用をスタート致します。

- ① 民放TV局とNHKは「震度5弱」以上の場合速報を実施するが、過去の地震災害の実態や二次被害発生への懸念等を踏まえ、在京ラジオ6社では「震度5強」以上で速報を実施。
- ② 速報の「報知音」はNHKを含めたラジオ全局で同一の音声を使用し、報知音に続けて自動的に緊急地震速報とドライバー及び屋内の方等への注意喚起コメント(録音)を、放送に強制的に割り込ませ放送。
- ③ 速報対応が準備できた時点より生放送による速報対応へ移行。

なお、3月24日(月)～4月6日(日)までの2週間、及び車で行楽に出かけるゴールデンウィークの直前週には、緊急地震速報スタートに伴うPR強化週間とし、在京ラジオ5社でスポット及び生ワイド内で特集を行うほか、交通情報の直後に告知を入れるなど、事前告知をあまり行わなかったTVに比べ、災害時に役立つラジオメディアならではの徹底したPR活動により、周知を図ります。

議題2：番組試聴

【番組名】「Daily Planet」

【放送日時】2007年12月5日(水)20:00～21:55放送分

【番組概要】

「ラジオの中の新聞社」というコンセプトで、世界中の驚きの最新トピックスを、世界の若者たちがいま聴いている音楽に乗せて届けるプログラム。世界の中の東京で、今この瞬間に地球上で何が起きているのかを体感できるプログラムを目指しています。

情報はディスカバリー・チャンネル、クーリエ・ジャポン、Newsweek、WWD ジャパン、WIRED VISION 他、様々な分野の情報サイトと提携して、政治・経済、文化、ファッション、テクノロジー、環境問題など世界中から集まるトピックスの中から、番組ならではの切り口でピックアップし、独自の取材を加えて紹介しています。

平日夜に、TVではなかなか報じられない、リアルな世界各地の動きをいち早く届ける「Daily Planet」は、元雑誌編集者として世界中を旅してきた堀内貴之が、自らの体験も踏まえてリアルに伝えています。

ご試聴頂く内容は、12月に1週間にわたり、世界のニュースに取り上げられることの無い小国の現実に迫った中から、「アルバニア」を取り上げた回をお聴き頂きます。

※特集企画：「世界から取り残された4カ国」

12月3日(月)トルクメニスタン

⇒国連が認めるもう一つの永世中立国が直面する崩壊の危機

12月4日(火)東トルキスタン

⇒50年余りで1000万人が虐殺された民族浄化

12月5日(水)アルバニア

⇒マフィアが運営する国家で行われる人身売買

12月6日(木)ジンバブエ

⇒国民の1/4がHIV感染するという危機

<試聴時間：約20分>

【委員の意見および社側説明】

(「○」委員意見／「■」社側説明)

- パーソナリティの堀内さんは、とても面白い人だと思った。話も聴きやすく、番組としてもユニーク。ただ、情報量としては少なく感じた。もっと突っ込んだアルバニアの状況が見えればよかった。もっと知りたいと思わせる内容だけに勿体無い。音楽にあわせて話しているのも面白く、今後が期待できる番組である。

- “ラジオの中の新聞社”というコンセプトは素晴らしい。音楽と情報のバランスも面白い。こうしたテーマを扱うことにも意義がある。
しかし、伝えられていることが本当のことなのか、自分では知らない国なので判断がつかないが、間違ったことを言う可能性も背負っているのではないかと感じた。
例えば日本も、「フジヤマ」「ゲイシャ」など、外国人にとって面白く見えるところが一面的に紹介されていた。今回のアルバニアの話でも、一概に「鎖国」と言いきれぬのか、バルカン半島は非常に複雑な問題を抱えているので、断片的な情報を伝えるには注意が必要だと感じた。
- なかなか面白い番組である。しかし、限られた情報だけで1つの国のイメージを決め付けてしまっただけのよいのかと、危険性を感じた。
番組としては、独特の語り口が面白かった。
- リスナーにどう取られるかわからない番組だと感じた。
パーソナリティの語り口が説得力があるだけに、情報だけでなく、実際のエピソードなども取り上げないとリアリティが逆に薄れてしまう感じがした。
知らない国のことを伝える場合、リスナーには偏った情報がインプットされる怖れがあるので、もっとリアリティを持たせる演出が必要と思った。
- 試みとしては斬新な番組だが、取り上げる話題がリスクでデリケートな問題である。情報の間に挟まれるパーソナリティの考え方やまとめが簡潔すぎる。情報の羅列ならそれに徹した方がいいのでは。取り上げるテーマには注意が必要だと思う。
- パーソナリティの語り口は素晴らしい。あとは、裏づけとなる知識が確かで、この語り口で語ってくれたら、もっと聴きやすくなる。
「鎖国」という話をするときにも、「日本で言う“鎖国”とは多少違うのだろうかけれども…」など、一言入れられるとよかったと思う。
あの国はどうだという話題は、うっかりすると決めつけに繋がることもある。知らない国のことだからこそ、リスナーにとってインプットが強くなってしまわないので、かなり慎重に扱わなければならない。
ただ、知られていない国に関心を持たせる入り口としては、とてもよい。
途中の、海外のちょっとしたニュース（肥満に悩んでいた人が、チャット

を通して人と触れ合うことで健康的に痩せることができた、という話)を紹介するコーナーも面白かった。

5. 放送番組審議会の内容について

審議会の意見は、放送番組審議会事務局から各担当部長に伝達した。

6. 公表

議事内容を以下の方法で公表した。

① 放送：番組「Heart Sharing」

3月23日(日) 6:00～8:30放送

② 書面：TOKYO FM サービスセンターに据え置き

③ インターネット：TOKYO FMホームページ内 <http://www.tfm.co.jp>

7. その他

次回審議会は4月8日(火)に開催することを決めた。

以上